



平成20年10月30日

各 位

会社名 **株式会社 日 阪 製 作 所**
 代表者名 代表取締役社長 村上 壽憲
 コード番号 6 2 4 7
 上場取引所 東証・大証 第1部
 問合せ先 管理部統括部長 小西 康司
 電話番号 06-6201-3532

平成21年3月期業績予想の修正及び特別損失の追加計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会にて、平成21年3月期業績予想の修正を決定し、並びに特別損失の追加計上を行うこととなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期の第2四半期累計期間業績予想の修正

(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	15,380	2,172	2,372	1,450	44円60銭
今回修正予想 (B)	15,876	2,422	2,632	502	15円46銭
増減額 (B-A)	496	250	260	△948	△29円14銭
増減率 (%)	3.22	11.51	10.96	△65.37	△65.33
(ご参考)前期第2四半期実績 平成20年3月期第2四半期	13,841	2,182	2,482	1,088	33円47銭

注) 第2四半期末の配当につきましては、平成20年5月13日付発表の「平成20年3月期 決算短信(非連結)」から変更はございません(1株当たり16円)。

－修正の理由－

当第2四半期の業績は、想定範囲内ではありますが、売上高、営業利益、経常利益共に計画値を上振れし好調に推移いたしました。他方、第2四半期末における急速な金融不安により保有有価証券の含み損が発生し有価証券評価損金750百万円の計上を余儀なくされ(平成20年10月2日付開示「特別損失発生に関するお知らせ」をご参照下さい)、また、後述3. 投資損失引当金250百万円の追加計上を行なうことを決定いたしました結果、第2四半期累計期間純利益は計画値を下振れすることとなりました。

それに伴い、第2四半期累計期間の四半期純利益予想を修正しております。

2. 平成 21 年 3 月期の通期業績予想の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	33,000	5,000	5,400	3,300	101 円 51 銭
今回修正予想 (B)	36,000	6,000	6,300	3,000	92 円 32 銭
増減額 (B-A)	3,000	1,000	900	△300	△9 円 19 銭
増減率 (%)	9.09	20.00	16.66	△9.09	△9.05
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	29,190	4,618	5,079	2,243	68.97

注) 期末配当につきましては、平成 20 年 5 月 13 日付発表の「平成 20 年 3 月期 決算短信 (非連結)」から変更はございません (1 株当たり 16 円。年間 1 株当たり 32 円)。

－修正の理由－

通期の業績は、第 2 四半期の結果も含め、受注残高、並びに受注・引合の動向から精査の結果、売上高、営業利益、経常利益の計画値を上方修正いたしました。なお、第 2 四半期計上の特別損失は、一部洗替の可能性もありますが、全額計上としております。

投資有価証券評価損、投資損失引当金は損金算入ができませんので、有税処理となり、更に有税相当額が控除された額が純利益となります。

注) 金融市場の情勢如何では更なる有価証券評価損等が純利益に影響する可能性があることから、金融市場等の動向を慎重に見極める必要があります。また、今後の受注動向如何では第 3・4 四半期で売上・営業利益・経常利益が上振れる可能性もあり、業績予想につき修正する必要がある場合は速やかにお知らせいたします。

3. 特別損失の追加計上

当社は、債券の格付けが「BBB」格以上の格付けが付与されている債券を、満期保有目的の意志で保有する場合に、満期保有目的の債券に分類しております（満期保有目的の債券たる適格要件）。満期保有目的の債券に分類することが出来る債券は、信用リスクが高くない債券が対象となるものであることから、満期時には額面満額の償還がなされるものであり、満期保有目的の債券たる適格要件が維持される限りは減損の対象とはいたしません。但し、今般の金融市場の混乱は、異常な状況であり債券の時価も明確でなく、債券の格付けの信用性にも危惧があることから、安全性、保守性の観点から、「投資損失引当金」として 250 百万円を計上いたします。

その結果、平成 20 年 10 月 2 日付け開示の「特別損失発生に関するお知らせ」の有価証券評価損 750 百万円や固定資産除却損等を含め、当第 2 四半期における特別損失の合計は 1,269 百万円となります。

以 上

業績見通しにつきましては、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づいて判断をしており、今後、様々な要因によっては予想数値と異なる可能性がございます。